

日本脳炎ワクチン

1. 日本脳炎とはどんな病気ですか？

日本脳炎ウイルスの感染によって起こります。
ヒトからヒトへの感染はありません。

2. どのようにして感染しますか？

日本脳炎ウイルスに感染したブタが体内でウイルスを増殖



そのブタを刺した蚊が感染



感染した蚊にヒトが刺され感染

感染した蚊に刺されたヒト全てが日本脳炎を発症するわけではありません。

3. どんな症状がでますか？

潜伏期間は、7～10日です。
高熱、頭痛、嘔吐。意識障害、けいれんなどの症状をともなう急性脳炎です。
感染者の100～1000人に1人が脳炎を発症します。
脳炎になったヒトの20～40%が死亡し、重篤な後遺症をのこすヒトも多い病気です。

4. 特に注意すべき人はどのような人ですか？

ブタの日本脳炎感染率が高い、西日本地域（特に九州、四国）の人や、
ブタの日本脳炎流行期の6月から蚊の多い夏場までにワクチンを接種していない人です。

5. 治療法はありますか？

特に有効な治療法はありません。
日本脳炎ワクチンによる予防が重要です。

6. 日本脳炎の予防接種の時期は？

1年中接種可能です。

対象者(3歳以上)でまだ日本脳炎ワクチンを接種していないお子さんは、
なるべく、蚊の多くなる時期までに接種してください。

7. 副反応はありますか？

発熱や腫れなどがあります。
以前のワクチンでは急性散在性脳脊髄炎の発症例がありました。

新しいワクチンが開発され、2010年(H22年)から予防接種が積極的にすすめられています。

8. 予防接種ができなかった

H17年からH21度の対象者はどうすればよいですか？

H7年4月2日からH19年4月1日生まれで、20歳未満の人は無料で接種できます。

また、H17年からH21年の間、予防接種が1期や2期の途中で終了している人も20歳未満なら無料で接種できます。

くわしくは、当院にご相談ください。